

第二次大戦後の コモンウェルスの 再編と変容

2020年1月25日(土) 14:00~17:00
土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

申込不要
入場無料

直接会場にお越しください。

イギリスでは他国に先駆けて工業化が進展し資本主義経済が成熟したこと、またイギリスが世界各地に進出し自治植民地や属領からなる世界的な帝国が成立したことは良く知られるところである。しかし、第二次世界大戦の後、イギリスとそのコモンウェルス諸国は米ソ対立というグローバルな秩序の変動にさらされる中で、戦後復興のみならず新たな社会問題への対応にも迫られることとなった。

こうした内外の危機的状況における難解な問題を、イギリスそしてコモンウェルス諸国はいかにして乗り切ろうとしたのだろうか。

本講演では、「移民」および「福祉国家」に焦点を当てて論じていく。

講師

イギリスの入国管理政策の展開と移民送出国

原田 桃子 (はらだ ももこ)
米子工業高等専門学校教養教育科助教

グローバル・ヒストリーからみた

戦後イギリス福祉国家の形成と変容

ベヴァリッジ・プランの再編論争を中心に

佐藤 滋 (さとう しげる)
本学経済学部准教授



主催 東北学院大学研究ブランディング事業「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

問合せ先 東北学院大学研究ブランディング事業推進室 TEL・FAX 022-264-6547

E-mail: branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

URL: <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/theology>